



ニューヨーク  
補習授業校  
学校だより

日本語を話す仲間と 日本語で学ぶ補習校

# 補習校協育



令和7年(2025年)12月4日

第31号

校長 小島 昇

## 日本語環境を整える

2026年4月入園・入学を希望するお子さんの受け付け、スクリーニングが始まっています。スクリーニングの際には、紙芝居の読み聞かせがありますが、いつも感じることは、先生が読み聞かせを始めるとたいてい子どもたちはそのお話にすぐに集中するということです。それは、育ってきた環境によっては必ずしも日本語が得意ではない子どもであったとしてもです。



幼児部でも紙芝居や絵本の読み聞かせがよく行われています。子どもたちは、紙芝居や絵本の読み聞かせが大好きです。

スクリーニングを終えて、言葉(日本語)に課題があると認められる場合には「日本語力向上のために、家庭での日本語環境を整えてください。」と保護者の皆さんにお願いすることがあります。日本語環境を整えると言ったとき、まずは、家庭内で少なくとも父親か母親のどちらかと日本語で会話する場面を増やすことが考えられます。それが難しい場合は、父親や母親に代わり、日本語でのコミュニケーションをとれる人の確保をアドバイスすることもあります。

子どもたちの日本語力は、こうした日々のコミュニケーションの中で育っていきませんが、紙芝居や絵本の読み聞かせは、そこで育った日本語力を強化します。それは、紙芝居や絵本の読み聞かせが日常の会話ではあまり使われない表現に出会える機会であり、新しい語彙を獲得し、表現力の向上に結び付くからです。また、単に言語能力が向上するだけでなく、論理的思考力や、記憶力、集中力を育む効果も期待できます。

他にも、日本語環境を整える方法として、今の時代は日本語の動画の活用や日本語を話す友だちと一緒に遊ぶ機会を設けるといったことも考えられます。各家庭の事情や子どもたちの興味関心により、方法は様々に考えられると思います。幅広く日本語環境を整えることで、日本語力も豊かに育まれていくことでしょう。具体的に考えて実行し、継続できるものを準備して補習校への入園入学に備えていただきたいと願っています。既にお子さんが補習校で学んでいるご家庭でも、お子さんの実態によりこのような取組の継続をお願いいたします。

